

吉川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和5年11月18日(土)
午後7時00分～午後8時40分
- 2 場 所 山田錦の館 研修室
- 3 参加者 吉川地区 16人
市 24人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、危機管理課長、福祉課長、都市政策課長、交通政策課長、農業振興課長、農地整備課長、農業委員会事務局長、学校教育課長)
オブザーバー 6人
傍聴者 10人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 人口減少対策

【区長協議会】

人口減少を緩やかにする手段を考える必要がある。吉川地域では人口の減少が顕著であり、地区住民には将来に対して不安感や閉塞感がある。

人口が少ないので、区長や民生委員、農業後継者のなり手も少ない。なり手不足の中で地区の役割をどう担っていくかも考える必要がある。

一方で、まちづくりのことについて関心の高い若い世代が吉川地区にも居る。小中一貫教育でまちおこしを実施している他市への視察に行きたいと考えている。こうしたまちの活性に繋がる視察等を地域として実施したいと考えている。

【市 長】

人口が減ることを前提として、いかに人口が減るスピードを緩やかにするかを考えなければならないという思いは同

じである。平成27年に三木市の人口が令和2年には7万3千人になるとの国の予想であった。しかし、令和2年の三木市の人口は7万5千人であり、2千人多かった。他市と正確には比較できないが、近隣市の中でも三木市の人口減少は少なかったと国勢調査の結果をもとに捉えている。

吉川においては、地域と一緒に、山田錦活性化構想のもと、道の駅化を進めている。また、総合射撃場が整備され、この射撃場は国民体育大会が開催できる施設となるよう県へも要望し、取り入れていただいている。今後は三木ホースランドパーク同様、様々な大会が開催できるものと考えている。こういったことにより、交流人口等も増加するものと考えている。

吉川地区内の小中一貫校が三木市内で一番早く開校する。良い学校をつくり、吉川で育ち、学んだ子が吉川に戻り、住みたいと思える教育環境を整備したいと考えている。

【区長協議会】

農村プロデューサーの講習を昨年受講した。講習会で、農林水産省が農村 RMO（農村型地域運営組織）の設立を提唱していた。

個人農家が個別に農業をするのではなく、農村 RMO といった集団で農業を行い、例えば町単位の大きな枠組みで作付けする方法も考えられる。このような取組みを三木市でも研究していただきたい。

【産業振興部長】

農村 RMO について農地の保全だけでなく、生活支援も含めた農村コミュニティの維持活性化に資する組織と国は定義している。三木市でも活用できるかどうかについては検討をしたい。

【まちづくり協議会】

外国人住民の人数がかなり増えている。吉川地区内では現在120人程度となっている。特に教育問題について、日本で生まれた児童もだが、外国で育ち、途中から日本で学ぶ児童等について、何らかのフォローをしていただきたい。そういったことも小中一貫教育の特色として考えていただきたい。

【市長】

外国人住民の方と共生するためには雇用する企業だけでなく、地域全体で外国人住民を受け入れることができる体制があるかが重要である。

【教育振興部長】

小中一貫教育については、まずは地域に住んでいる子どもたちのための学校づくりを第1に考えたい。その上で、プラスアルファでできることを今後検討することとしたい。

【区長協議会】

移住支援策を講じている他市の事例がある。滞在に対しての助成金やリフォームの費用に助成金が出ているところもある。鳴門市では地方起業家を輩出するため、NARUTO BOOT CAMP という事業を行っていると聞く。積極的に他市の事例を研究し、三木市でも活用できるものを見出してほしい。

イ 学校部活動の地域移行について

【まちづくり協議会】

三木市の第3回部活動在り方検討会議においては、第2回から何か進展があったのかお答えいただきたい。

【学校教育課長】

第3回の会議で協議された事柄は3つある。1点目は検討会議が三木市教育委員会へ提出する意見書について。2点目は部活動の在り方について解決すべき課題について。3点目は10年後の持続可能な文化・スポーツ活動のイメージについてである。会議の中で委員からは、部活動を地域クラブ活動に移行するには一定の移行期間が必要と思われ、平日のクラブ活動も地域クラブに移行できるかどうか、また何年度中に移行できるかも含めて、検討する必要があると意見をいただいた。

【まちづくり協議会】

兵庫県において、小学生のクラブ活動に大学生が参加し、大学生の指導実習も兼ねた人材育成プロジェクトがある。このような取り組みがあることを部活動の在り方検討会議に紹介いただきたい。

【教育振興部長】

市政懇談会での出た意見として、会議に出席いただく委員に紹介をさせていただく。

【まちづくり協議会】

部活動の指導者を雇用する際の費用について、専門的な人材を雇用すると費用が高くなると考えるが、どのような対応を市としては考えているのか。

【教育振興部長】

指導者の費用に対する具体的な対策は先進地の意見も聞きながら、市としてできる対応策を今後、考えていきたい。

ウ 吉川地域の指定避難施設の体制確保について

【区長協議会】

吉川地区の小学校統廃合による閉校や吉川体育館の閉鎖、吉川高校も今後、閉校を予定している中、公的な避難施設が少なくなっていくことが明らかである。

そのような状況であるため、自治会が所有する集会所を市の指定の避難施設と位置づけ、備蓄品を共有できるような仕組みができれば良いと考えるがこのことについてはいかがか。

【総合政策部長】

公共施設が統廃合する中、吉川地区に限らず、避難所が不足しているのが現状である。このような中、自治会の集会所に限らず、民間施設にも避難所としての活用をお願いしなければならないと考えている。

【区長協議会】

意見・提言の最後にあるとおり吉川総合公園に防災キャンプ施設ができれば良いと考える。屋外施設を防災に役立つ施設に整備し、災害があった際には使用できるようにする。吉川総合公園の用地も調整池の課題もクリアしているので、後は防災の整備を行うのみと考える。

また、現在デイキャンプがブームとなっていると感じている。吉川総合公園をバーベキューやデイキャンプができる場所として整備することで、地元の野菜や肉の売り上げにも貢献でき、三木金物のキャンプ用品化も計画できれば、地域の

活性化に繋がると考える。

【都市整備部長】

当該場所は現在、平地になるよう工事残土の有効活用を行い、造成を進めている。様々な整備の方向性について、検討をする必要があるが、防災の観点も踏まえ今後、考えていく。

エ 吉川町の農業振興について

【まちづくり協議会】

圃場整備や農地の大区画化同様、他の農業支援事業についても補助に際して、地域計画の策定や担い手への集積が要件になっているものがあれば教えていただきたい。

【農業振興課長】

地域計画を策定する目的は、地域の中の農業の担い手を育成し、さらに地区が一体となって農業を支えていく体制をつくることである。この地域計画の策定が国や県の補助に連動をされる動きである。農地中間管理機構での農地の賃貸借についても地域計画の策定が一つの要件であり、キーワードでもある。新規就農者を受け入れる支援についても地域で応援するという意味が込められて、地域計画の策定と補助が関連づけられるようになっている。

【まちづくり協議会】

耕運機を導入する場合の補助はあるか。

【農業振興課長】

トラクターやコンバイン、近年ではスマート農業機械についても補助の対象になっている。

【まちづくり協議会】

今後は、地域計画に基づく担い手育成等が補助の中心と考えてよいか。

【農業振興課長】

全国的に見ても地域計画の策定ができているところは多くない。現状では地域計画の策定を進める地区に兵庫県の農業機械補助の要件が加わった。2年の間に地域計画を策定する形で動いている。2年後以降は地域計画に位置づけられた担い手が補助の対象となるとともに補助の優先順位として上がってくるものと考えている。

【まちづくり協議会】

認定農業者に対しての支援制度はあるが、自治会や土地改良区単位がラジコン草刈り機を共同利用・導入する際、補助の対象にならないか。

【農業振興課長】

認定農業者等が補助対象となるため、自治会などの任意の団体への県や国の補助は難しい。

【区長協議会】

集落営農の担い手が少なくなっている。一つ一つの集落に助成するのも良いが、今後は集落営農をまとめ、営農力をつけることを考える時期に来ていると考える。

【市長】

集落営農をまとめる話が出たが、隣の集落と一緒に何かをすることが難しいとの意見もあり、行政主導ではできない。地区主導により、隣の集落と一緒に営農を実施する動きがあるのであれば、三木市も応援し、協力したい。

【産業振興部長】

既に細川地区の集落では、稲刈りなどの大がかりな作業がある際は他の集落と一緒にになって取り組んでいる事例がある。何が一番効率的な農業なのか、地区でまずは整理いただき、提案があれば市もサポートさせていただく。

【区長協議会】

総務省では集落支援員制度がある。地区の土産物開発や多方面に集落支援をすることについて、特別交付税が使うことができるかと聞いている。制度の導入について検討いただきたい。

【産業振興部長】

一つの方策として、集落支援員制度がどのように三木市で活用できるか、どのように位置づけできるかを含めて検討させていただきたい。

【まちづくり協議会】

農地中間管理機構に問い合わせると、農地の預け入れを行っている農家が少ないと聞いた。一定の面積を一度に耕作の方が効率的であり、集積されていない農地を耕作することは非効率である。地域計画の農地の出し手などの個人情報に

については、共有が困難であると考えます。そこで、農地に関しては、ある程度地域の事情を知っている必要があるため、各地区と担い手をつなげる協議会を別途立ちあげ、地域特性や集積化に対する意見交換の場を持たないか。

【農業振興課長】

まずは地区で10年先の農地の担い手を考えていただき、どうしても担い手が見つからない場合については、市も情報を提供させていただく。農地の所有者と耕作者の情報を一方のみへ情報提供することは難しいが、耕作をしたい、耕作を広げたいという方のマッチングは市も間に入って進めさせていただく。

【区長協議会】

吉川小学校の北側と西側の広いのり面の草刈りについて、5年ぐらい自治会でシルバー人材センターに依頼し、刈っていた。今年、市役所で土地の所有者を調べると市役所の土地であることが分かった。

緑地であるため、今後は市で草刈りの対応をお願いしたい。

【市長】

市の土地であれば、市で責任をもって管理しなければならないので、現地を見てから報告をさせていただく。

オ 吉川町の公共交通等について

【区長協議会】

吉川支所が移転した際に吉川図書館前バス停の名称が変わった。その際に（よかたん前）の表記もなくなる形に変更となった。もともとは観光客誘致の目的でつけたバス停の名称であり、（よかたん前）の表記を復活させてほしい。また、バスの行先も含めて変更をお願いしたい。令和7年春には道の駅化することもあり、よかたん前でバスが停車できれば、三木市吉川地区のPRにもなると考える。

【交通政策課長】

バス事業者と協議し、表記などについて相談します。

【区長協議会】

上吉川地区と東吉川地区から北播磨総合医療センターへ向かうバスが出ていない。吉川地区から三田市民病院へ通う

住民もいる。医療については生活の重要な要素を占めるため、今後、三田市民病院の統廃合の話題も三田市と神戸市で上がる中、病院が移転した際のルートも検討していただきたい。

【交通政策課長】

病院行きのバスルートについて、三田市、神戸市と協議しながら、一番適切なルートを検討していきたい。

【まちづくり協議会】

チョイソコみきについて、買い物を外出目的に利用することが多いということから、フレッシュバザールも吉川健康福祉センターと同様の扱いにさせていただくことで、利用者の増が見込めると考える。吉川地区で幹線内エリアに住んでいる方は、一旦、吉川健康福祉センターを経由し、フレッシュバザールへ行くことになる。買い物の住民ニーズが高いのであれば、直接フレッシュバザールを往復できるルートを考えてもらいたい。

【交通政策課長】

路線バスとの役割分担の中で、乗り継ぎでないとフレッシュバザールへ行けないということになる。同様の意見も多くいただいているため、今後もバス事業者と協議をしていきたい。